

(農) 富山東部球根プラント組合ほか(富山県砺波市ほか)

実証面積：2.0ha

実証課題名

生産規模の異なる花き球根生産者を広域連携する球根版スマート農業サービスの確立

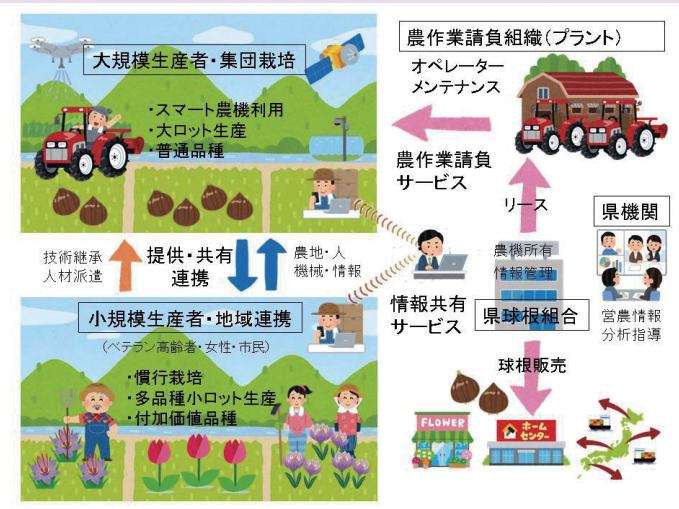
構 成 員

富山県花卉球根農業協同組合、(農)富山東部球根プラント組合、富山西部球根プラント(株)、埜村丈雄、城宝清幸、(株)サセキ関西中部、富山県(農業技術課広域普及指導センター、砺波農林振興センター、新川農林振興センター、農林水産総合技術センター)、砺波市球根組合、新川地区球根組合、砺波市、南砺市、入善町



背景・課題

- 富山球根の強みは球根組合が一元体制のもと生産指導・集荷販売・価格調整・マーケティングを行っている、時代のニーズにあった品質と品種バランスをコントロール
- 近年、輸入球根との競合により収益力が低下し、新規担い手不足と高齢化が進み、生産量が減少
- 「農地・人・スマート農機・情報」を提供・共有し、家族完結型から地域連携型への転換がポイント



本実証プロジェクトにける想い

<地域連携型生産体制への構造転換>

大規模生産者と小規模生産者の連携によって、「農地・人・スマート農機・情報」を相互に提供・共有し、足腰の強い地域農業を確立し、総合球根産地の復活を目指したい。

<大規模生産者の役割>

- ・スマート農機利用の大ロット生産へ
- ・圃場と品種の集約化へ

<小規模生産者・ベテラン生産者の役割>

- ・農地集約化の共有連携
- ・大ロット生産に必要な人材を提供連携
- ・多品種小ロット生産に特化

目 標

- スマート農機利用時でも、負担可能な作業請負料金：186,700 円 /10a
- スマート農機サービス利用及び多品目拡大により経営全体の利益増加率54%
- 地域連携型生産体制による球根生産の実運用。

実証する技術体系の概要

要素技術 ①球根植付ロボット ②球根収穫ロボット ③営農支援ツール ④気象・土壌モニタリングシステム

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント	①	②	②				①	②				
		④					③		④			

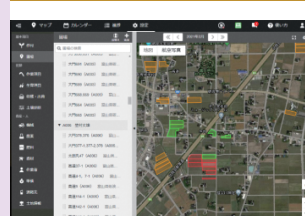
①球根植付ロボット



②球根収穫ロボット



③営農支援ツール



④気象・土壌モニタリング



問い合わせ先

▶実証代表

富山県花卉球根農業協同組合 藤岡昭宏

▶視察等の受入について

富山県花卉球根農業協同組合 担当：藤岡
e-mail: fujioka@tba.or.jp TEL: 0763-33-2448